

日本海呼称問題について（事実無根の韓国側の主張）

2019.10.20（松江）

下條

1. 2019年4月、国際水路機関の要請により、日韓朝による非公式会談
2. 2019年5月、国連地名専門家グループ会議開催

- (1) 日本政府の立場

- ① 我が国はこれらの主張に対し、断固反論を行っています。
- ② 国際的に確立した唯一の名称
- ③ 国際水路機関『大洋と海の境界』

3. 韓国側の主張

- (1) 『三国史記』「高句麗本紀」（始祖東明聖王條）→2000年前から→東海之濱

【批判】『三国史記』「高句麗本紀」（太祖大王條）

「四年秋十一月、伐東沃沮取其地、為城邑拓境。東至蒼海南至薩水」

- (2) 『新增東国輿地勝覽』「八道総図」→東海

【批判】『新增東国輿地勝覽』跋文

「卷首ノ総図ハ則チ祀典載スルトコロノ嶽瀆泊（及び）名山大川ヲ録ス」

『新增東国輿地勝覽』（「襄陽都護府条」）→「東海神祠」の設置場所

- (3) 国際水路局『大洋と海の境界』（1929年）

【批判】朴殷植『韓国痛史』（1915年刊）

「韓国は亜細亜東南に突出した半島国なり。その境界は東、蒼海に濱（沿って）日本海を隔て、西は黄海に臨んで中国の山東江蘇二省に対する」

【批判】1926年7月1日付『東亜日報』

「東海 - 或は云う蒼海 - 日本海の一部」

【批判】1946年6月15日付『東亜日報』

「東海か？日本海か？」

【批判】大後秀勝『大日本海陸全圖 聯接朝鮮全國並樺太』（1876年作成）

「日本海/JAPAN SEA」

4. 荒唐無稽な韓国側の論拠